



料理で町をもっと盛り上げたい

グリーンテージで調理を担当している高山裕也さん。1年程前、グリーンテージで祖父の法事を行った際、父と同級生の桂川副支配人から「うちで働かないか」とスカウトされました。葛巻に一人で暮らす祖母をずっと気にかけていたのですぐに就職を決意。現在は、平日は葛巻、休日は二戸の実家へという暮らしを続けています。

福岡工業高校卒業後、盛岡市内のホテルに就職。その後、料亭、飲食店など数々の経験を積み料理人としての腕を磨きました。得意料理は、和食全般。特に、肉じゃがには自信があります。

葛巻に来て間もなく1年。はじめは方言が分からず苦勞したとか。とうもろこしを「キミ」と呼ぶことに戸惑ったそうです。今では、朝食や弁当を任されるまでになりました。「グリーンテージが流行ると町がもっと流行る。料理を通して町の活性化にもつなげていけるような色々なことにチャレンジしていきたい」と目をキラッと輝かせます。

今日のショット

お盆行事



流しそうめん (城内小路)

皆さんが参加するコーナーです。耳よりの情報やご意見、ご質問などお気軽にお寄せください。総務企画課広報統計係 内線 257

松塚さんご一家、ようこそ鷹の巣へ

7月24日、鷹の巣部落では5月に同地区に移住した松塚さんご一家を迎える会を鷹の巣公民館で開催しました。この会は住まいを提供した中村喜一さんが呼び掛け人となり、地域の住民や町関係者など28人が参加し、松塚研二さん、要子さん夫妻を歓迎しました。

松塚さんは、東京や大阪でサラリーマン生活をしていましたが、お子さんが畜産分野へ進学したことがきっかけとなり、ご自身も就農を決意。「子どもたちのために、前準備段階です」と現在、鷹の巣で繁殖和牛を6頭飼育し、牛中心の生活に奮闘されています。



鷹の巣公民館で行われた歓迎会の様子 (写真提供：中村喜一さん)

冬村さん、名久井さん全国高文祭に参加

盛岡第三高校の冬村知佳さん(3年・写真右)と名久井桃衣さん(1年)は、8月1日から5日まで宮崎県で開かれた第34回全国高校総合文化祭の吹奏楽部門に岩手県代表として参加しました。全国から約2万人の高校生が集い、24の部門でコンクールや発表会、展示会などが催されました。

「演奏や交流会で、地域性の違いなどたくさん学ぶことができました」と冬村さんは、充実した大会を振り返りました。



移動中の新幹線で (写真提供：冬村知佳さん)

町民のひろば



大下 由菜ちゃん (3歳9ヶ月・寺田) 由香利さん長女



三澤 莉玖くん (3歳4ヶ月・市内) 裕也さん・円さん次男

わが家のアイドル

飼い犬の「ホルス」と一緒に散歩に出かけるのが大好きな由菜。先日は、散歩の途中でバツリ蛇に遭遇。「もう少しで踏みそうになったあ」と声ははずませて教えてくれました。とにかく元気な子で、朝から晩まで走り回って遊んでいます。男の子に負けない、元気で活発な子に育ってね。 由香利

食欲旺盛、ご飯大好きな莉玖くん。1日2〜3杯のご飯をペロリと平らげます。普段は、2つ上のお兄ちゃんと戦いごっこなどをして遊んでいます。とにかく負けず嫌いで、けんかでお兄ちゃんを泣かすくらい勝ち気な性格です。兄弟仲良く、思いやりのある子に育ってね。 円

ハイ、元気です

197



遠藤 タイ子さん (84歳・新町)

久慈市出身。東京の美容学校を卒業後、盛岡市内の美容室に就職。当時、葛巻出身の同僚から「葛巻で店を出してみたら」という何気ない一言から、町内で美容室を開くことになりました。その後縁があって旦那さんと巡り会い、結婚。今の茶香さんの場所、1階は食堂、2階は美容室として夫婦二人で商売を始めました。「一文無しから始めたので一生懸命働きました」と当時を振り返ります。今は地域の人と定期的に歌や踊りをするのが楽しみ。「みんなに支えられて毎日生活しています。今は極楽です。」と満面の笑みで話します。

さわちゃん劇場 (沢口浩 作画) 88

さわちゃんついてない日の巻



(笑話)



刈払い (統計の森・小苗代)



ラジオ体操 (寺田・中村・小苗代)



かかし (前里)

夏・あれこれ



小田念仏剣舞



ニジマスつり (小田)